

もりのかぜTM Vol.15



森を感じる情報誌——Green Page Akita

緑の募金で
ふせごう地球温暖化



公益社団法人 秋田県緑化推進委員会

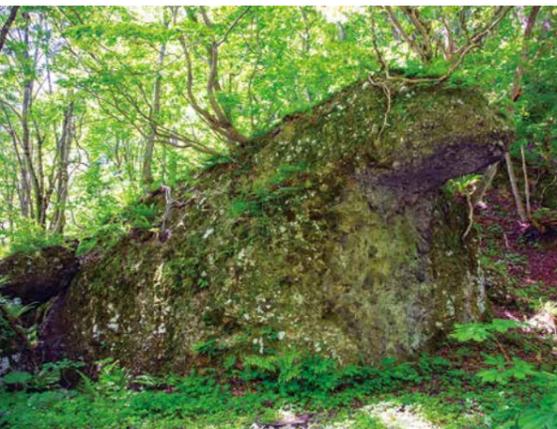
〈CONTENTS〉特集●露熊山峡 森の恵みを生かす／2 緑育REPORT／4 地域と森林レポート／6
GREEN PAGE AKITA／8 Photographこの一枚／10 あきた・緑化の足跡／11 インフォメーション／12



特集

露熊山峡

北秋田市阿仁の露熊山峡は、奇岩、巨岩、巨木が点在し、新緑、紅葉の彩り美しい景勝地です。地域住民により整備され、手軽に大自然を感じられる場所として自然体験学習にもおすすめです。



巨大なモッケ岩。モッケとはカエルのこと。



巨木や奇岩、巨岩との出会いが楽しめる林内



伝説が伝わる「マタギ岩」(写真右)は、菅江真澄の随筆「ふでのまにまに」にも記録されている。その昔、犬を連れて熊を追っていたマタギが、猛吹雪の中、立ち往生してそのまま石になったと伝わる。「マタギ岩」の上方には鶴の形をした「鶴岩」とよばれる岩がある。



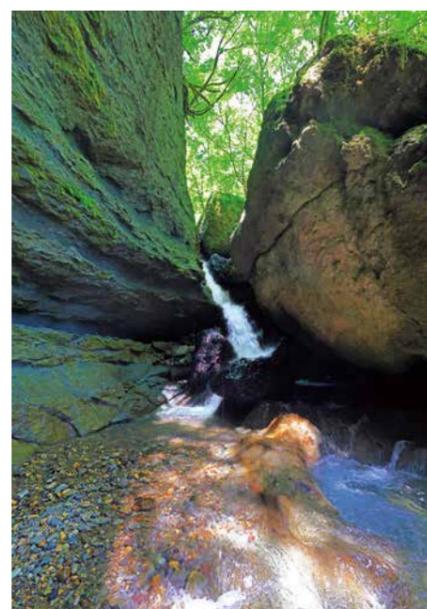
ナベ岩の周辺ではイワナが生息し、貝の化石採集もできる。



露熊山峡は北秋田市阿仁・荒瀬集落の西側に位置し、国道105号沿いに看板が出ているので入口は容易に見つけることができる。そこから現地までの道は林道となっており、ジャリ道を車で10分ほど走る。昔は近隣の小学校遠足の定番コースとなっていた。



ブナ岱山頂から荒瀬集落と森吉山を望む



「ナベ岩」に注ぐ万三郎滝。磐司万三郎という人が荒瀬にやって来たのちに、マタギの総元締めになったという。

露熊山峡は北秋田市阿仁荒瀬集落の西方、阿仁川を渡り林道を車で10分ほどの露熊七面山を過ぎてから露熊集落跡までの渓谷です。
かつては秋田三十景の一つに数えられた景勝地でしたが人が減って荒れてしまいました。
2020年に地域の宝を取り戻そうと、地域住民を中心に「露熊プロジェクト」がスタート。草刈、丸太の椅子や木道の設置、看板取り付けなどの整備が行われてきました。
露熊山峡にはイタヤカエデやサクラ、クルミ、モミジ、ナラ、ブナなど様々な樹木が自生しています。また、地層が剥き出しになった大迫力の「ナベ岩」や、苔むした奇岩、沢に注ぐ小滝、伝説が伝わる巨岩「マタギ岩」など見所にあふれます。
標高468mのブナ岱山頂からは荒瀬集落の全景と森吉山、さらには隣の地区、阿仁合地区と秋田内陸線の走る風景を望むことができます。(※ブナ岱登山口〜山頂まで所要時間約30分〜40分)
その昔子どもたちの冒険の場でもあった露熊山峡。大自然とふれあえる渓谷へ、気軽に歩いてみませんか。

気軽にに行ける秘境

木のぬくもりあふれる遊び場は 国登録有形文化財

鳥海山 木のおもちゃ館



「鳥海山木のおもちゃ館」は国登録有形文化財「旧鮎川小学校」を活用した「多世代で楽しむ木育拠点施設」として県内外に広く知られています。

その成り立ちから現在までのあゆみ、そして館内の様子について、施設の指定管理者であるNPO法人の熊谷理事長さんにお話を聞きました。

廃校の校舎が活用されるきっかけ

旧鮎川小学校は昭和28年から29年の二カ年にかけて鮎川村村有林の木材を使用し当時の村財政の三分の二を費やして建てられた旧鮎川村立鮎川中学校が前身です。由利町内の中学校統合により空き校舎になったことから同町立鮎川小学校校舎として転用されました。

しかし少子化によって町内3小学校は新校舎を新築、統合しました。その間、校舎の利活用が検討され、宿泊が可能な合宿施設などの活用案が出されましたが、財政上のことなどで将来的な課題となりました。平成の大合併（平



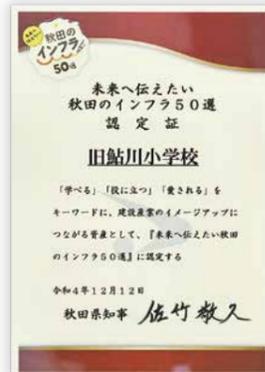
悠久の時を超えて佇む風情あふれる旧鮎川小学校

成17年3月）で由利本荘市となってもない頃、以前から校舎の雰囲気の良さに魅了されていた方が、校舎の利活用の事で市に再び訪ねてこられました（旧由利町時代にも訪ねてきていた石油資源開発(株)関連会社の役員の方）。営利目的ではなく地域活性の一環としてミニコンサートを開催したいのでお借りできないかとの申し入れでした。行政としてもできる範囲でお手伝いをし

登録有形文化財を活用する

このような経緯があり、後世に亘ってこの施設を維持する方策はないかという機運が高まり、市当局と検討する中で国の登録有形文化財として申請してみようということになりました。大学の先生、文化庁の調査官に調べていただいたところ明治、大正期の学校建築の流れを汲む昭和の大規模な建物校舎として秋田県で唯一現存する建造物であるということが判明し、平成24年2月23日国登録有形文化財に登録されたのです。

次にこの施設を有効活用する方法がないかと市の部署を越え、若手職員が議論する中で、「東京おもちゃ美術館」の情報を得て、視察に向かいました。その結果「東京おもちゃ美術館」が推進している木育に大きな可能性を感じてきたのです。次にはだかるのは資金面です。文化庁に登録文化財の利活用についての補助金を申請したところ、今後のモデルケースになり得るということで補助金を得られることになりました。そして6年前「鳥海山木のおもちゃ美術館」としてスタートし、その後現在の「鳥海山木のおもちゃ館」として名称変更し、現在市内外から年間4万人超の来館者で賑わっております。



令和4年、未来へ伝えたい秋田のインフラ50選に認定される。

多世代が楽しめる施設

当館は多世代交流施設として子どもだけでなくシニアも含めた多世代が遊んで楽しめる施設運営をしております。

たとえば木工室では子どもから大人まで楽しめる、こけしの絵付け体験など様々なプログラムをご用意しております。民具展示室は昔の暮らしを偲ぶとともに子どもにとっても学習の場となります。ボードゲームも充実していますので中学生や若い女性のグループの方たちも楽しんでいきます。

昔のおもちゃのコーナーもあり、けん玉やコマ回しなどを祖父母が孫に教えている微笑ましい光景などをよく目にしますよ。

林業振興の場

当館には鳥海山麓の秋田スギ、広葉樹等多くの地域材を使用しています。由利本荘市の75%は森林ですので素材生産、製材加工、木工職人等多くの木に関わる人々の情報発信基地として林業振興の場ともなっています。

今後の抱負

常に市とも連携しながらおもちゃや展示物もリニューアルして新鮮味を出していきたいですね。

それから他のNPOさんや宿泊施設、由利高原鉄道さんも含め広範に他



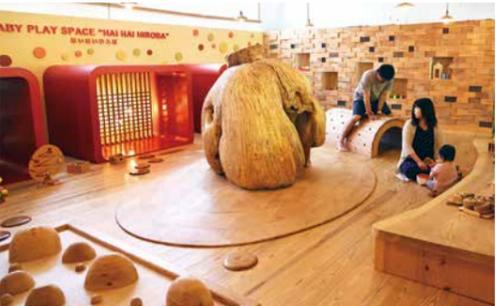
どのコーナーも木のやさしいぬくもりで包まれている



鳥海山 木のおもちゃ館
〒015-0363
秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1
TEL 0184-74-9070 FAX 0184-74-9079
mail info@chokaisan-wtm.jp
http://chokaisan-wtm.jp

開館時間
9:00～16:00（※最終入館は15:30）
冬期間（12月～2月）は10:00～16:00
休館日
3月～11月毎週木曜日
（※木曜日が休日の場合は前日）
12月～2月毎週水・木曜日、年末年始
アクセス
・日本海東北自動車道 本荘ICから車で約10分
・鳥海山ろく線「鮎川駅」から専用シャトルバスで約5分
駐車場
・グラウンド奥80台
・校舎裏20台
・鮎川河川広場70台（大型5台）

との連携を計りながら地域全体の発展に貢献していきたいですね。



あゆかわえき おもちゃのまちあいしつ



由利高原鉄道では客室内のインテリアに木をふんだんに用い、木のおもちゃの世界を演出した「おもちゃ列車」を運行



緑とともに育つ・育てる

《緑育REPORT》

秋田県立大曲支援学校

美しい自然に恵まれた秋田県では、古くから学校林等を中心とした森林環境教育が盛んです。緑にふれることによって、子どもたちの環境への理解が深まるとともに、豊かな人間性を育む……そんな素晴らしい教育活動を実践している学校を紹介するシリーズです。

小高い丘の広い敷地に色とりどりの花が咲く整備された花壇。そこにミニチュメントの様に建つ時計台を中心に小学部、中学部、高等部そして正面から向かって右手に寄宿舎が並び全棟赤い屋根で統一された秋田県立大曲支援学校。ここには116名の児童生徒が学んでいます。

創立は平成4年で、県南では唯一寄宿舎を併設しています。遠距離で通学が困難、または日常生活の自立を目指す児童生徒のためにと目的は様々ですが、横手湯沢方面からの生徒も在籍しています。

創立30周年に果樹園造成

令和4年度は創立30周年を迎え、グラウンド南側にある「南の園」に記念・果樹園を造成しました。公益社団法人国土緑化推進機構からの助成金(学校環境緑化モデル事業)を活用、イチジク、ブルー

ベリー、あんず、栗、柿など10種類、合計37本の果実の苗木を用意して、児童生徒によって植えられました。これは、果樹・花木の世話や収穫等の体験を通し、木育や食育活動に役立てることをねらいとしたものです。

地域に見守られて

同年9月22日、30周年記念植樹が行われ、「南の園」に児童生徒の代表と大曲南ロータリークラブ(RC)の会員がキウイの苗4本を植樹しました。

植樹に先立ち、大曲南RC会員の方々がキウイ棚と果樹園看板を設置、児童生徒代表がお礼の言葉を述べ全校で感謝の気持ちを伝えました。大曲南RCは、大曲支援学校の設立に尽力、現在も学校行事の運営等に支援を続けています。このような地域の方々との交流が、見



果実の苗木にはそれぞれ生徒が製作したネームプレートを設置。スクスクと生育している。



大曲南ロータリークラブのみなさんと30周年記念植樹



ロータリークラブの会員の方々によって設置されたキウイ棚。棚には児童生徒が南の園をイメージした絵を描いた看板も取り付けられた。

それぞれの製品の完成度にもこだわって製作しています。その製品のクオリティは年間定期的に行われる販売会、アンテナショップ、地域のワークショップの販売を通じて高い評価を得ています。

校内の広い野菜畑も中学部、高等部で区分けし春から秋までトマト、ピーマン、ナス、バジル、キュウリ、スナップエンドウ、カボチャ、ズッキーニ、ニンジン、その他色々と栽培しています。収穫した野菜は校内販売や寄宿舎の食材に、ほかに定期的に開催する販売会等にタイミシングが合えば採れたてとして販売することもあります。



中学部・高等部で世話をしている野菜畑

学習の成果・販売活動

8月19日イオンモール大曲で行われた「つながるワークショップマルシェ」取材しました。販売活動には中学部10名、高等部6名の生徒とそれぞれの職員が参加しました。

生徒たちは自分たちの頑張りを伝えられる絶好の機会です。「採れたての野菜ですよ!」と声高に宣伝する生徒、「これは



接客、会計、商品補充と、てきぱきとこなしました。

スマホ立てなんです」と丁寧に製品の説明をする生徒、受け取ったお金を間違えないように真剣に数える生徒。オープンの10時から途切れる事なくお客さんが見え、売れたら在庫からてきぱきと製品を補充しながらの販売活動はあつとという間の2時間でした。

製品はクオリティにこだわっているだけに完成度はかなり高く、生徒はもちろんですが指導する先生も自ら技術を取得し教えているわけですから、かなり努力



完成度の高い製品は思わず手にとりたくなる。



今回は畑の収穫物としてピーマンやバジルなどを販売



秋田県立大曲支援学校
〒014-0072
秋田県大仙市大曲西根字下成沢122番地
TEL 0187-68-4123 FAX 0187-68-4122
●平成28年には「せんぼく校(分校)」が仙北市角館に開校

ニツ井宝の森林プロジェクト

能代市ニツ井

「ニツ井宝の森林プロジェクト」の仕掛人

市役所務めをしていた船山富雄さんは常日頃から郷土の荒れていく暗い杉林がどうにかならないものかと心を痛めていました。意を決し退職1年前にこの問題に取り組みました。この道のパイオニアであり林地残材を活用する教育プロジェクト「木の駅プロジェクト」を全国に広めた元農林水産省出身の丹羽健司さんに指導を受け、始まったのがニツ井宝の森林プロジェクトです。今回はプロジェクト仕掛人の船山さんにお話しを伺いました。

梅内聚落との出会い

ニツ井版「木の駅プロジェクト」の構想を役所時代に面識のあった梅内地区長の藤田孝一さんに提案したところ、実現は早かった。梅内の自治会役員会で構想を語る中で全国に展開する「木の駅プロジェクト」では、軽トラとチェーンソーで晩酌代ををキャッチフレーズに森

林整備を行っている旨を話すと、「おおー！それはいいなー、おもしろい」と大盛り上がり。最初は乗り気でない面々も、構想に耳を傾けるようになり、「おらほうでもやってみるべ」ということになったのです。その後色々なアイデアで運営されていくことになるのですが、個人所有林1200haを対象に10ha当たり1000円の「宝券」(地域通貨)を森林所有者に対価として発行し、手入れを順次行っています。このフィールドは時に

都市住民との林業体験の交流の場にもなっていくのです。

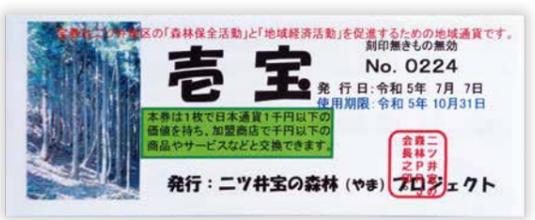
「ニツ井宝の森林プロジェクト」ってどんな組織？

このプロジェクトを推進していくには受け皿となる組織が必要ですが、梅内聚落の自治会組織がそのままプロジェクトの役員を担ってくれることになり、私は事務局員ということになっています。次

都市住民との交流 作業は楽しくがモットー

普段の生活では森とは無縁と思っているであろう多くの都市住民に森の果たす役割とか楽しさを知ってもらうことを目的に、年に数回イベントを開催しています。プロジェクトのメンバーがマンツーマンでチェーンソーの安全操作講習、伐倒した丸太の玉伐りや薪割、スウェーデントーチ、丸太のいす作りなどの体験を通じて山への理解を深めてもらっています。

参加者は主に東北、泉央の都市住民と県立大の学生さんが毎回数名参加して



地域通貨「宝券」は地元商店街の振興にも寄与している。「宝券」は、宝の森林という言葉から命名された。



下刈り作業の後は、恒例の慰労会で親睦を深める。昔から結束力の高い地域だ。



マッチ1本でキャンプファイヤーが楽しめるスウェーデントーチ



女性軍も「山菜倶楽部」を立ち上げた。



山菜ツアー参加者とともに。



運搬作業、薪割を終えてさわやかな笑顔



チェーンソーの安全操作講習で安全に対する認識向上を徹底。指導は山仕事のプロがマンツーマンで行う。

次代に繋ぐ宝の森林



ニツ井小学校児童とのモミジ植樹

次代を担う子供たちのために

次代を担う子どもたちに植林作業を通じてふるさとの豊かな山林資源を知ってもらうために、ニツ井小学校児童とモミジの植林を10年間続けています。植林のほかキノコの植菌(ナメコ、シイタケ)活動も行っています。児童たちの瞳は自然に触れていきいき、きらきら輝いています。

地域の森林は、文字通り宝の森林となっていますよ。

INFORMATION

ニツ井宝の森林プロジェクト

代表者 野呂 勝彦

事務所
〒016-0102
能代市一本木86-6(船山 方)

事務局 携帯:090-7077-6492

Mail: t-funa@ipone.ne.jp
URL: https://www.umenai.net

緑を楽しむ
ドライブ

みずほの里ロード その2

「みずほの里ロード」とは、横手市と仙北市を結ぶ全長約40kmの大規模農道の愛称です。奥羽山脈の山裾を縫うように走り、仙北平野を望みながら快適なドライブを楽しむことができます。今回はロード後編として「美郷町(続編)・大仙市太田地区・仙北市」のエリアをご紹介します。隠れた名所や美しい風景に出会うカントリーロード。ぜひ走ってみてください!!



美郷町

初夏の風物詩 美郷町ラベンダー園



美郷町大台野広場内にある、約2haの広大な畑に2万株ものラベンダーが咲き誇ります。シーズン中は辺り一面を紫と白に染め、清涼感あふれる香りが漂います。ホワイトラベンダー「美郷雪華」は、このラベンダー園で発見され、平成25年に品種登録されたものです。例年6月中旬～7月上旬にラベンダーまつりが開催され、摘み取り体験などが行われます。大台野広場内ではピクニック、バーベキュー、アスレチック遊具を楽しめます。他にパーク・マレットゴルフ場、グラウン

ドゴルフ場で爽快にプレーを楽しめます。
TEL 0187-85-3131 (大台野広場管理棟)
美郷町千屋字大台野1-4 JR大曲駅より車で25分



風格ある佇まい 美郷町指定文化財 坂本東嶽邸



文化人の趣にあふれる母屋



蔵では理一郎の功績などを展示紹介



風趣に富んだ庭園

東嶽とは坂本理一郎(1861-1917年)の雅号で、幼少より漢文や漢詩に優れ、上京して儒学、和漢などを学んだほか、慶応義塾で政治・経済も学びました。この時に犬養毅と出会い、生涯の友となりました。千屋村小森の理一郎旧宅は、坂本家により町に寄贈され、庭園はほぼ当時のままですが、家屋は4分の1ほどになっています。坂本家は地主で、母屋の床の間の部材には黒檀が使われており、風格を感じさせます。また、犬養毅らとの交流を示す書簡や、書画が展示されています。離れ座敷は襖・障子など随所にこだわりが感じられ見応えがあります。蔵には私財を投じて村づくりを行った理一郎の功績や、坂本家ゆかりの品を展示しています。茶室前の庭園には池があり、池の鯉と周囲のモミジが趣のある空間を形成しています。

東嶽邸の母屋・座敷・茶室は、会合や休憩などに有料で使用することができます。(※要事前予約) 風趣に富んだ坂本邸でくつろぎのひとときを過ごされてはいかがでしょうか。

千屋断層学習館



明治29年、真屋山地付近を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生。この地に未曾有の災害をもたらした「陸羽地震」に関する資料や、震災前後の東嶽邸の写真や国内の地震研究、映像資料などを展示公開しており、東嶽邸内に併設されています。

《坂本東嶽邸・千屋断層学習館》
開館/4月～11月 9時～17時 月曜休館(月曜が祝日の場合は開館し翌火曜が休館) TEL 0187-84-4040 (美郷町学友館) 美郷町千屋字小森91 JR大曲駅より車で約20分

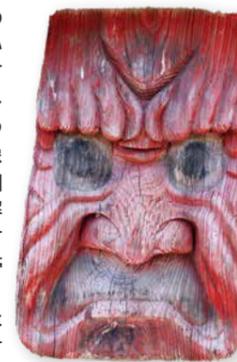
大仙市

お面の神様たちとの出会い 「オニヨサマ」巡り

大仙市太田地区の斉内川流域の集落には沢山の人形道祖神「お仁王様(オニヨサマ)」が祀られています。ほとんどが胴体がなく「面」だけを設えています。これは明治政府が神道の国家統制を推し進めた際に、仏教の廃止だけでなく、男根をもつ人形道祖神もいかにわしい信仰とされ廃止の対象となったためという説があります。また平田篤胤(国家神道の大成者)は、民間信仰を神道の立場で解釈する際に、「塞三柱大神」の御名を石塔に刻印することを考案したため信仰が盛んになり地域一帯に「塞三柱大神」の石塔が多くみられます。

「オニヨサマ」は集落の境に立ち悪霊や伝染病などを集落内に入れさせない結界のようなものと言われています。集落を今も護り続けている「オニヨサマ」を巡る旅、いかがでしょう。

■県道50号沿い、太田東小学校を過ぎ県道259号に入る、または県道50号斉内川堀口橋付近から入る。



①段ノ腰

②河原田

③胡桃台



⑥下小曾野

⑤小曾野



⑧夏瀬

⑨この二体の祠は並んで建っている



⑩川端

⑦扇畑



※マップは目安です。位置が異なる場合はご容赦ください。

角館町

必見! 芸術性高い山門、白岩焼千体仏 雲巖寺

1450年に白岩城主によって創建され、山門は秋田県有形文化財に指定されています。山門の仁王像は昭和12年に安置されたもので、名工・高橋市蔵(別名内満造)の作品です。山門の表裏には二体ずつ、計四体の力士像が掲られ、表情豊かな優れた彫刻です。

1838年に当時の住職は地蔵仏一千体を白岩焼窯元に作らせ、お堂を建てて祀りました。現在、角館町文化財指定となった千体仏堂には、江戸期、明治期、平成期(和兵衛窯製)のものが安置されており各時代の人々の祈りが伝わるようです。

TEL 0187-55-1497 角館町白岩郷33 JR角館駅より車で10分



多彩な表情が見事な力士像



見応えのある山門には彩色の跡がみられる



名工・高橋市蔵渾身の作品、仁王像



製作年代の異なる白岩焼千体仏



記念石碑には「四季を彩る 緑永遠に濃く」と刻まれている。

平成8年5月16日
第47回秋田県植樹祭開催地——太田町「太田ふれあいの里」
 《現大仙市》

大仙市太田町「太田ふれあいの里」において第47回秋田県植樹祭が開催されました。

参加者は佐々木喜久治知事、高貝久遠太田町長、鈴木孝治前太田町長他、1,600名です。植樹祭のメインテーマは「小さな苗木も地球の命」。

式典会場は太田農村勤労福祉センター。式典では町内緑の少年

団によって、キジ200羽が記念放鳥されました。

参加者にはレンゲツツジ（太田町の木）の苗木が贈られました。

植樹された樹種はオオヤマザクラ、ライラック、ムラサキヤシオツツジ他、22種800本です。植栽地はグラウンドゴルフ場などが整備されたレクリエーション地内で「太田ふれあいの里」として管理さ

れ、生育は良好です。

太田ふれあいの里・グラウンドゴルフ場は16haの広々としたコースで自然とのふれあいを満喫しながら心身ともリフレッシュできます。他にバーベキューハウス、サイクリングロードなどが整備されています。隣接する川口温泉「奥羽山荘」とともに観光施設として多くの来場者で賑わいを見せています。



国内屈指の広さを誇るグラウンドゴルフ場



広大なりフレッシュ・エリアで大人も子どもも楽しめる

「太田ふれあいの里」地内でスクスク生育している植栽木。



Photograph
この一枚

横手市雄物川川町造山地区にあるスギです。市指定天然記念物で、樹高約16m、幹回り約4mの大木で、樹齢は300年以上と推定されています。枝枝が隆々と八方へ伸び広がり、その樹形は一見すると松のようにも見えます。傘杉はこの特異な形状からついた名です。かつて雄物川が造山の近くを流れていた頃、この木に舟をつないだという言い伝えがあります。昔から造山地区の人々は、「神木」として崇めてきました。根元付近には「傘杉の清水」と呼ばれている清水が湧き出しており、夏季には清水のそばに茶店がたち、夕涼みの客で賑わったと伝わります。

からかさ すぎ
傘杉【横手市】

災害に強い安全安心な県土、安らぎの環境づくり

広域基幹林道「米代線」

第8回（令和4年度）秋田県優良業務で知事より表彰業務
湯沢市榎内沢山地区、緊急機能強化・老朽化対策業務委託

県土の保全で暮らしを守る

木製治山ダム工（オールウッド型）

ドローン活用

CADによる設計

路網調査

当社は秋田県の森林土木事業を補完する機関として、森林の保全や林業生産の向上を図るための調査・研究、測量・設計等の業務を行っております。

一般社団法人 秋田県林業コンサルタント

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-169
 TEL. 018-865-1133 FAX. 018-865-1134
<http://www.akita-forest-con.or.jp/>



もりのかぜ・ねっと

INFORMATION



緑の募金大使「森っち」



緑の募金
シンボルマーク

県緑化推進委員会の主な事業

「緑の募金」運動の推進 緑の募金運動を広く展開し、寄せられた善意を主な原資として次のような事業を推進しています。

●地域緑化活動の推進

市町村等が行う緑化イベントへの支援

●緑化思想の啓発

チラシ、看板、キャンペーン、機関誌発行、緑化関係表彰

●県民参加の森づくり推進

森林祭等開催、市民グループ森づくり活動支援

●森林ボランティア育成

ボランティア活動支援、リーダー養成

●緑の少年団等育成

交流集会、学校緑化コンクール、学校緑化活動支援、子供木づかい体験

●名木・古木等の保護

診断、調査の支援

●国土緑化運動

国土緑化推進機構連携事業、緑と水の森林ファンド活用事業

※秋田県緑化推進委員会は、国土緑化推進機構・各都道府県緑化推進委員会と連携し、緑の募金による東日本大震災・熊本地震被災地のみどりの再生支援を行っています。

緑の募金は、このように活用されました！

ダイドードリンコ(株)では、
環境貢献として飲料自動販売機による「緑の募金」活動に協力しております。

「緑の募金自販機設置」のお願い

新規設置の自動販売機が対象です。設置、ご紹介の協力をお願いします。

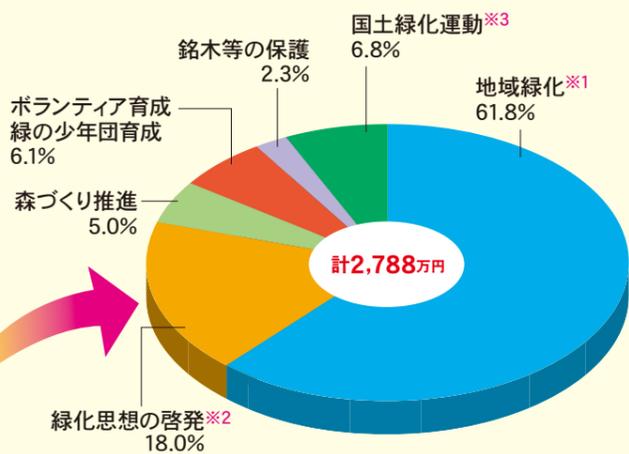
目印は
このパネル!!

この自動販売機の収益金の一部は、「緑の募金」に寄付されます。



令和4年度募金実績

家庭募金	1,336
学校募金	428
職場募金	376
街頭募金	7
企業募金	377
その他の募金	264
総額	2,788万円



※1 地域緑化 公園、道路、町内会、工場等の緑化
 ※2 緑化思想の啓発 街頭募金キャンペーン、機関誌発行、HP更新、資材購入等
 ※3 国土緑化運動 国土緑化推進機構連携事業、被災地支援、公募事業

TOPICS

ふるさと秋田「水」と「緑」を体感する—令和5年度秋田県緑の交流集会—

「令和5年度 秋田県緑の交流集会」が8月11日(金) 秋田県森林学習交流館・プラザクリプトンを会場に行われた。参加者は26名。令和4年度はコロナ禍により中止になり、ようやく開催となった。しかし、猛暑続きにより「熱中症警戒アラート」が発令される。外でのカヌー体験は中止になりクリプトン室内において開催されることになった。

午前は「昆虫の話」「森のクラフト体験」、午後には「マジックショー」、そして最後はみなさん初めて行うフィンランド生まれの競技「モルック」で大いに盛り上がり無事終了した。



昆虫の話 クリプトンの森で観察できる昆虫をスライドとともに解説。みんな興味津々で画面に入っていた。



森のクラフト体験 自然の素材を使って思い思いにイメージを膨らませて楽しんだ。



モルック大会

初めての競技にワクワク、ドキドキ。歓声が上がって盛り上がった。



▲緑の交流集会の様子は「モリエール秋田」のHPをご覧ください。 <http://www.forest-akita.jp/data/school-2023/2023-09/2023-09.htm>

もりのかぜ

Vol.15

編集・発行

令和5年8月31日(木)発行

公益社団法人 秋田県緑化推進委員会
〒010-0941
秋田市川尻町字大川反170-169 森林環境会館内
TEL 018-883-0815 FAX 018-883-0816
[Eメール] akiryoku@estate.ocn.ne.jp
URL <http://akiryoku.ec-net.jp/>

制作

有限会社 パレア

〒010-0942 秋田市川尻大川町2-8
TEL018-896-7225 FAX018-883-0004

編集後記

▼今年7月、秋田県では記録的な豪雨災害に見舞われた。被災された皆様におかれては1日も早い復興を願わずにはられません。県内では毎年のように豪雨災害が発生しており、行政機関も被害対策を強力に講じてはいるものの、温暖化という気候変動のスピードに整備が追いついていない感じがします。自然災害の予防対策などについては、これまでの「想定」を大幅に超える「想定」のもと、対策を実施していかなければならない時期に来ているのではないのでしょうか。(N.T)

みんなが森林の応援団!! 緑の募金

への協力と森林づくりへの参加をおねがいします。
■緑の募金は、地域の環境緑化活動や森づくり活動への支援に使われます。



いつでも どこでも 振込でも
募金強調期間

春季 4月10日～ 5月31日
秋季 9月 1日～ 10月31日

実施主体 / (公社) 秋田県緑化推進委員会
市町村・市町村緑化推進委員会

緑の募金でふせごう地球温暖化



だから、安心です!!

JAS製材品は、品質・性能が明確!!

JASは 安心の証明マーク

木造建築物には、
JAS製材品を使いましょう。

JAS製材品は、品質・性能を明らかにして出荷された製材品です。この製品は、「日本農林規格等に関する法律」(JAS法)に基づき認証されたJAS工場で品質管理及び格付のための検査・試験を行い消費者の皆様を提供されており、安心してお使いいただけます。

お問い合わせは

秋田県木材産業協同組合連合会

〒010-0003 秋田県秋田市東通二丁目7-35
TEL:018-837-8091/FAX:018-837-8093
<http://a-mokuren.jp>